

企画総務委員会 送付5-043

外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例を審査する前に  
万世会館の状況を区民へ説明し、区民から意見を聞き、活かすことを求める陳情

受付年月日 令和5年11月20日

陳情者 提出者 1名

2023年11月20日

陳情書

千代田区議会議員 秋谷 こうき様

陳情者



外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例を審査する前に万世会館の状況を区民へ説明し、区民から意見を聞き、活かすことを求める陳情

1、平成29年9月13日に提出され、趣旨採択された「要求水準」が満たされていないこと

再開発計画では、神田川沿いの地形の広い場所に民間のホテル建設を予定し、万世会館は現在地より昌平橋寄りに計画されたがために、地形が先細りになり要求水準である6台分の駐車場が確保できません。

区から示された計画図面によれば3階・4階に葬儀場が予定されており一日に2組の葬儀が可能と説明がありました。しかし「要求水準書」では駐車場面積70㎡で、その内訳は一葬家あたり乗用車2台、葬儀関係車両2台（マイクロバス、霊柩車）、葬儀事業者スペース24㎡、障がい者専用スペース15㎡、の6台となっています。

現在の図面ではバリアフリー法施行令で定められた身障者用車1台のほかは荷捌き用車1台しか取れていません。これで果たして一日2組の葬儀が可能でしょうか。1組でも困難ではないでしょうか。

2021年、まちづくり部によって開かれたオープンハウスでこれに気付いた区民が説明を求めたところ、当時の課長は「170メートル高さの超高層ビルの地下2階に設置される駐車場から国道17号の上空にかける陸橋を渡って来ればよいのでは」と話されました。区民サービス、区民への当たり前ともいえる「要求水準」はどこへ行ってしまったのかと、唖然としました。

2、万世会館の利用状況及びかかる経費について

区内の死者数は2022年度446人、そのうち万世会館を利用された方は77件で1件当たりにかかった区の費用は約35万5千円となります（総費用は2735万円）。今年度2023年度は、ご遺体用の冷蔵庫維持補修を委託にしたためと物価上昇により経費は前年度より約

500万円多い3220万円の予算計上となっています。

多死社会になる一方で少子化も進み、家族葬・直葬、など葬儀のやり方も変化してきています。千代田区の未来を展望した時に葬儀への住民意識の変化に伴うあり方をどう捉えるのか、万世会館はその経費を含めて絶対必要なのか、

このような状況の説明を区は区民にされたのでしょうか。ほとんどの区民は知らないのではないのでしょうか。

区民の要望、意見に耳を傾けてください。計画が進んでからではあとの祭りです。公共施設を再開発に入れるためには地権者のみならず区民に誠実に向き合い、“開発にとって都合の悪い意見は聞き流す”のではなく多数の区民意見を活かしてこそ、より区民が納得した安全で安心でき、来街者にも満足して訪れることが可能なまちになるのではないのでしょうか。

以上